

## 7月 保護者会

本日はご多用中のところ、保護者会にご出席いただき有り難うございます。

さて、国民的アニメ『サザエさん』では、例年8月末の放映で、「夏休みの宿題が終わらないカツオくんの話」が出てきます。波平さんやマスオさん、時にはノリスケさんまで動員してカツオくんの手助けをする磯野家の様子は、ドタバタ劇の中にも微笑ましさを感じさせます。

ただし、この状況は古き良き「昭和の微笑ましさ」であり、令和の現在では、宿題を終えていないことが、不登校のきっかけにもなりかねません。

また、磯野家のような人海戦術ではなく、ネット上の隙間ビジネス「宿題代行業」なるものに頼る生徒（保護者）も出てきました。

一方で、昭和と比べて現在は、塾の夏期講習等に通う生徒も増えています。そういう生徒の多くは、自分の課題克服と塾の勉強とで手一杯です。事実、過去にはそこに学校の宿題と部活動とが加わり、自分の時間が全く取れなかったと嘆く生徒もいました。

そう考えると夏休みの宿題は、学習面に課題のある生徒にとっては勉強嫌いを助長するネガティブ要素、自学自習の習慣が付いている生徒にとっては「余計なお世話」という負の側面もあるのかもしれません。

カツオくんの通う「かもめ第三小学校」もそうかもしれませんが、昭和の学校は、たくさんの宿題を出すことが教育サービスであると考えてきました。

それが間違っていたというのではなく、そういう時代だったのです。保護者から寄せられる「うちの子は宿題がないと勉強しないから、たくさん出してください」というリクエストに学校が応える時代だったのです。

そして、残念ながら、先に述べたとおり2学期当初、宿題が終わっていないことをきっかけに（少なくとも本人はそれを理由に）、学校に足が向かなくなってしまった生徒もいました。

昔のように、多くの宿題は出ませんが、夏休みだからできる内容の宿題はどの学年もどの教科も準備しています。ももいろクローバーZの「ワニとシャンプー」という曲にも「終わらない、終わらない」という夏休みに宿題を歌詞にしています。家族での話題にさせていただき2学期には元気に登校できるようことを願っています。。

これからの時代に求められる「主体的に学ぶ態度」を身に付ける指導を今後の進めてまいります。保護者の皆様も「私たちの中学生時代は…」といった経験則で夏休みの宿題を捉えず、長い目で見たお子さんの成長を促していただきますよう、お願い申し上げます。

最後に、熱中症や自然災害、交通事故、感染症等にご留意いただき、お子様にとって安全・健康・有意義な夏休みとされますようお願い申し上げます。